



① イングリッシュ・キャンプ  
②③ 平成28年度鹿屋市中学校英語暗唱・弁論大会の様子  
④⑤ 鹿屋小学校でのALTを活用した英語授業の様子



社会の急速なグローバル化の進展の中で、異文化理解やコミュニケーション能力がますます求められています。今年3月に公示された新・学習指導要領では、平成32年度に「小学校3年生からの英語必修化」、「小学校5年生からの教科化」が完全実施されることになり、平成30年度からは移行措置としての授業が開始されます。市では、これに先駆けて、早くから英語や異文化等に触れる学習を実施し、国際化に対応できる人材の育成を目指した取り組みを行っています。ここでは、次代の国際化社会を見据えた市の英語教育の取り組みを紹介します。

問 市学校教育課(6階) ☎0994-31-1137

知っていますか？  
鹿屋は「英語教育」先進地！

# 英語でコミュニケーション

毎回子どもたちの笑顔あふれる姿が見られる英語の授業（鹿屋小学校）

INTERVIEW

「英語」には仲良くなるための秘訣が詰まっています！

鹿屋小学校  
英語教育推進リーダー※  
吉田 雄二さん



鹿屋市の年間指導計画の中には「コミュニケーション活動」という項目がしっかりと位置付けられています。英語に触れることで、「目を見て話すこと」や「笑顔」が、フレンドリーな気持ちを伝えることになるということも学ぶことができます。これは将来必ず役に立ちます。また、私が勤務する鹿屋小学校では、スムーズに会話をつなぐための言葉や、子どもたち同士が認め合うための言葉をしっかりと使えるよう意識して指導しています。

鹿屋市では小学校1年生から英語を学んでいるので、子どもたちは英語でのあいさつも恥ずかしがらず、興味をもって来ています。これは鹿屋市の良さだと思っています。

子どもたちには、外国語を学ぶのは世界の人と仲良くなるためだと教えています。話そうとする努力が大事。それは子どもたち同士が仲良くなることにもつながるはずです。

※英語教育推進リーダー…文部科学省が実施する研修を受講し、県内の英語教育を推進する教諭

一緒にキャンプを行います。異文化を理解し、英語に慣れ親しんでもらうための事業です。イングリッシュ・チャレンジ学習段階に応じて目標設定が可能な実用英語技能検定(英検)への受検補助を行っています。中学生1回分(4級〜準1級)の検定料の半額を市が負担します。

また、英語能力判定テスト(英検1B A)は、市内中学生と鹿屋女子高校生を対象に、年1回無償で実施しています。現在、県内では市と薩摩川内市のみ行

われている取り組みです。英語暗唱・弁論大会の優秀者の海外派遣

平成28年度から、鹿屋市中学校英語暗唱・弁論大会において優秀な成績を収めた中学生を海外に派遣しています。

今年度も、冬休み期間中に2週間程度、アメリカ合衆国に派遣する予定です。同様の大会は各自自治体で実施されていますが、海外派遣を副賞としているのは、県内では鹿屋市だけです。

さらなる英語教育向上に向けたモデル事業

新・学習指導要領を見据え、市では平成27年度から、鹿屋小学校、祓川小学校、東原小学校、鹿屋女子小学校や鹿屋女子高校を訪問し、英語指導を行っています。

また、市はALT(外国人の英語指導助手)を5人雇用。ALTは市内小・中学校や鹿屋女子高校を訪問し、英語指導を行っています。

これは低学年のうちから言語や文化に興味をもち、英語を聞いたり話したりして、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身に付けてもらうことと実施しているもので、その名も「かのや英語大好き事業」。

市は独自に英語指導講師5人を採用し、すべての小学校に派遣しています。そして、小学校1・2年生で年間10時間、3・4年生で20時間、5・6年生で35時間の英語教育を実施しています。

ユニークな英語教育事業を展開

このほか、市では、英語教育、国際文化理解のための様々な事業を行っています。

イングリッシュ・キャンプ

小学校5・6年生と中学校1年生、保護者を含めた計30人程度が、県内のALTや留学生と一緒に、

鹿屋中学校、鹿屋女子高校を指定校として、英語教育に先行的に取り組む「文部科学省強化地域拠点事業」を取り入れていきます。指定された3小学校の英語の授業は、市内の他の小学校に比べ、約2倍の授業時数が設けられています。

また、野里小学校、第一鹿屋中学校、鹿屋高校では、県教育委員会と連携して平成28年度から、「Candorist」を用いた学習指導を実施しています。これは「英語のできる行動」を記したものをリスト化し、学習到達目標を「聞く・読む・話す・書く」の4技能について、能力の習熟度に応じ設定・評価するものです。

これにより、先生と生徒が目標を共有するとともに、生徒が身に付ける能力を明確化し、主体的に学習する態度・姿勢を身に付けることが期待されています。